

2年次の近況報告

「越えられない壁はない」

赤嶺 智基 (2年次)

「2年前期は1年後期の5倍は忙しい」

これは、1年後期が終わる頃ぐらいに友人から聞いて衝撃を覚えた言葉です。実際、その通りでした。1つの試験が終わったと思えば次の試験の対策が始まり、結果が出た試験の点数から次の試験ではどれだけ点を取れば良いのかを勘定していく生活をして2ヵ月が経過しました。改めて1人前の医者になるために必要な知識の膨大さに圧倒され、それを乗り越えた先輩方はとても遅く見える毎日です。

また、2年生になってこれまでと大きく変わったことといえば、後輩が入学したことです。私は2回浪人をして入学したので、後輩がいるというのは久しく経験していなかった感覚でした。現在は、1年生の顔と名前が一致してきて、多くの1年生に会える金曜日が勉強の息抜きとなっています。

学年全体の状況はといいますと、試験が多いせいか、それとも、1年が経過して仲が深まったせいか、学年内での協力というものが見えてきて、いい雰囲気になっていると強く感じます。これから夏休みまでに多くの厳しい試験がありますが、34期の団結力で乗り越えていきたいと思います。



1年次の近況報告

「新生活」

千葉 俊彦 (1年次)

こんにちは、1年次年次長の千葉俊彦です。大学に入り、新しい環境での新しい生活が始まりました。見るもの全てが新しく、まだ見ぬ出合いを期待して臨んだはいさいパーティーから、はや2ヵ月が過ぎ、段々この大学生活に慣れてきました。琉球大学に入学して感じたことは、第一に、国際色が豊かで様々なバックグラウンドを持つ人が多いこと。そのような方々との交流を通して、自らの見地を広げることができ、琉球大学ならではの良さを実感しております。第二に、新歓がとても活発であること。私自身、多くの部活の新歓に参加させていただき、いずれも楽しく、締め切りギリギリまでどれに入部するか迷ったほどです。勉強面では、一年前期という早い段階から、「シミュレーション演習」や「医学概論」などの授業を通して、医学の基礎を学んだり、先生方の体験を聞き現代医療の片鱗を覗くことができる機会を与えられ、医師になるとはどういうことなのかを毎度実感しています。このような恵まれた環境で勉学に励めることを誇りに思いながら、良き仲間と充実した日々を送っていきたいと思います。

